

小平市軟式野球連盟学童部 大会規定

1, 開会式

開会式の日時及び場所は、毎大会ごとに抽選会の案内と共に連絡する。

尚、開会式に参加しないチームは棄権とする。

* 前シーズンの優勝・準優勝・3位・4位のチームは、優勝旗・カップ・トロフィー等を必ず持参すること。

2, 当該試合前注意事項

スタメン選手全員が試合開始規定時刻の30分前までに球場へ集合し、同刻までに監督(またはコーチ)は直ちにオーダー票4部(本部・球審・対戦チーム・自チーム用)を本部へ提出し捺印を受けること。

尚、試合開始規定時刻の30分前までにオーダー票を提出していないチーム、および試合開始10分前までに選手が10名に達していないチームは棄権とする。

3, ベンチ

抽選番号の若いチームを1塁側とする。

4, 攻守

毎試合ごとにジャンケンで決める。

5, 試合回数と規定時間

[I 部]

決勝戦を除く三位決定戦及び準決勝戦までの全試合を7回戦、または(経過イニング数に関係なく)90分以内とし、時間を優先する。

決勝戦のみ7回戦、または(経過イニング数に関係なく)105分以内とし、時間を優先する。

[II 部]

決勝戦を含む全試合を5回戦、または(経過イニング数に関係なく)70分以内とし、時間を優先する。

6, ルールと試合方法

本大会は、2016年度公認野球規則によるトーナメント戦とする。

尚、I部に限り試合開始前に5分間のシートノックを行う。

7, コールドゲーム

I部に限り決勝戦を除く全試合を、4回(又は4回表)終了時10点差または5回(又は5回表)終了以後7点差とする。

II部においては適用しない。

日没・降雨その他の理由で5回(又は5回表)終了以後の試合続行が困難であると審判団が認めたときは、コールドゲームとする。

それらの状況が適用回数以前の場合は再試合とする。

8, 特別延長(タイゲーム)

規定回数・規定時間終了後及び規定時間内終了後、点差のない場合は特別延長戦を行う。

特別延長戦は0アウト満塁で行い、打者は継続打順とする。

尚、打者及び走者共に通常ゲーム終了時の打順を適用する。

また、特別延長戦は打者継続で2回まで行き、それでも勝敗が決まらない場合は監督による抽選とする。

また、途中日没又は降雨により中止となった場合は後日継続試合を行う。

9, 抗議

プレイ中の抗議はその当該選手又は監督のみとし、審判員の決定に従う。

10, 出場停止

大会運営上支障があると審判員が判断し、その行為に対して注意しても改められない時は個人又はチームを退場させ、以後登録を抹消することがあり、理事会にて決定する。

11, タイムの回数制限

(1) 監督のタイム

投手に対するタイムは監督がマウンドへ行き選手に指示をすること。

回数は1イニングに1度とし、2度目は投手交代となる。

また、7イニング(または規定時間内)で3回までとする。

(2) 守備のタイム

監督が投手以外の野手を呼ぶ、または野手が集まることに対するタイムは、7イニング(または規定時間内)で3回までとする。

ただし、特別延長になった場合は、2イニングで1回とする。

(3) 攻撃のタイム

監督が打者または走者を呼び指示を与えるタイムは、7イニング(または規定時間内)で3回までとする。

ただし、特別延長になった場合は、2イニングで1回とする。

注1)

監督がタイムを取り投手へ指示をする際、他の野手が集まった場合は「監督のタイム」と「守備のタイム」それぞれ1回となる。

12, 背番号と登録人数

背番号は監督を30番・コーチを29番および28番とし、主将を10番・他の選手を0番～27番までとする。尚、選手の登録人数は20名以内とする。

13, ベンチ入り人数

ベンチに入れる人数は、ユニフォームを着用した選手その他、背番号30・29・28番の指導者3名と、チーム代表・スコアラー・引率責任者各1名、並びに介護者2名の計8名とする。

注2)

ベンチ以外からの指示・指導は厳禁とし、発見した場合は当該者を退場させる。

注3)

背番号30・29・28番の3名は必ずチームのユニフォームを着用すること。

他の5名についてはユニフォーム以外を着用し、グラウンド内への立ち入りは厳禁とする。

14, ファウルボールの処理

ベンチ内に入ったファウルボールについてはチームが処理し、近くの審判員へ渡すこと。

それ以外については大会役員若しくは審判員が処理をする。

15, 球場整備

[I 部]

各試合前のシートノック終了後、両チームでグラウンド整備をすること。

従って、試合を終えた両チームは速やかにベンチを空け退場すること。

[II 部]

試合終了後、両チームでグラウンド整備をすること。

注4)

最終試合の両チームのみ試合終了後も双方で整備すること。

16, 装備

打者・次打者・走者・ランナーコーチ共に両耳ヘルメットを着用すること。

捕手はマスク(スロートガード付)・プロテクター・レガーツ・ヘルメット(マスクとの一体型は禁止)・ファアールカップを着用すること。

注5)

捕手に関しては投球練習時も同様とする(ブルペンを含む)。

17, 使用球及びバット

軟式公認球C号を使用し、大会本部より配球する。

バットはJSBB軟式少年用を使用すること。

注6)

低反発バットを使用する場合は、事前に大会本部へ対物保険証書の写しを提出すること。

18, 球場ルール

基本的には球場においてその都度説明するが、主として開会式時に全参加チームへ説明をし、以後省略することもある。

19, 天候及び日程変更

雨天等によってその日の全試合が中止になった場合は、次の試合予定日に順次繰り下げて実施することを原則とするが、天候・球場・連休・学校行事等の諸事情により、日程の組み替えが行われることがある。また、小雨(前日の雨天)等によって当日の可否が判断しにくい時は、自己判断せず必ず事務局にチーム代表1名が確認すること。

なお、午前8時以降にはホームページにアップされているので、そちらを確認すること。

20, 名簿登録

本大会の選手参加資格は、東京都内在住者又は都内に在学先を有する小学年生とする。

なお、同一選手の2チーム以上にわたる登録は認めない。

注7)

I部とII部の重複登録は認めるが、試合が重なった場合はチームの判断とし、日程変更はしない。

故意による不正登録があった場合はそのチームを出場停止とする。

転校等により住まいが他道府県に移動した選手については、前年度に上述した登録資格を持ち、過去に当連盟に登録されたことのある選手であればこの限りでない。

但し、上部大会(公益財団法人東京都軟式野球連盟主催大会)には登録出来ない。

21, 競技者数

大会の参加にあたっては、選手が10名以上ベンチ入りしなければならない(競技者規定)。

この規定に違反した場合は棄権とする。

22, 加盟チームの協力

小平市軟式野球連盟学童部(以下KGBLとする)加盟チームは、以下の項目について協力することとする。

また、協力内容については各年度の各加盟チームの協力度合いに応じて改定できるものとする。

改定内容は、代表者会議などで各加盟チームから意見聴取を行い、KGBL役員会にて内容を最終決定し、改定を行う。

また、決定した内容については、各年度の春季大会以前に各加盟チームに説明するものとする。

①当日試合があるチームは、第一試合前の設営に、2名以上の人員を協力要員として参加させること。

②当日試合があるチームは、自チームの試合前または後に、2名以上の審判員を参加させること。

③当日試合のあるチームは、最終試合後の撤収に、2名以上の人員を協力要員として参加させること。

23, 加盟・脱退・統合

(1)加盟

加入はKGBL代表者会議の2/3以上の賛同で認めるものとする。

加入が一過性にならないために、当該チームは加入年度の半年前までに以下の書類をKGBL会長宛に提出する。

① チーム設立の概要

② チーム運営方針

③ チーム運営五ヵ年計画。また、同地区同学区に既設チームがある場合は以下の書類を追加する。

④ 同地区・同学区の全てのチームへのチーム設立説明会の実施記録及び質疑応答記録

KGBL会長は提出された書類を基に理事会を開催し、加入について代表者会議で審議するか否かを審議し決定する。

(2)脱退

諸般の事情によりKGBLを脱退するチームは、脱退年度の前年度までに以下の書類をKGBL会長宛に提出する。

① 退事由書

② チーム内選手(父母)への説明記録

③ 残留選手の動向

KGBL会長は、提出された書類を基に理事会を開催し、脱退について審議し決定する。

(3)統合

諸般の事情により、KGBL加盟チーム同士で統合する場合は、速やかに以下の書類をKGBL会長宛に提出する。

- ① 統合事由書
- ② 統合チーム方針及び運営の概要
- ③ チーム内選手(父母)への説明記録
- ④ 当該チーム毎の選手動向

KGBL会長は、提出された書類を基に理事会を開催し、統合について審議し決定する。

24. 合同チーム

諸般の事情により、KGBL加盟チーム同士が合同チームとして当連盟主催の大会に参加を希望する場合は、以下の条件を満たし、且つ理事会で認められた場合に限り参加することが出来る。

但し、上部大会(公益財団法人東京都軟式野球連盟主催大会)には登録(参加)出来ない。

尚、参加が認められた場合、ユニフォームやヘルメットについては統一で無くても構わないが、帽子のみ統一の物を着用すること。

また、背番号に関しては重複を認めない。

[Ⅰ部]

単独チーム内当該年度3年生以上の選手数が9名以下の場合。

[Ⅱ部]

単独チーム内当該年度4年生以下の選手数が9名以下の場合。

[新人戦]

単独チーム内当該年度5年生以下の選手数が9名以下の場合。

25. その他

上記以外の規定は公益財団法人全日本軟式野球連盟の規約によるものとする。

試合当日監督又は主将のいない場合は、代理人をオーダー票提出時に本部(又は審判員)に報告し、承認を得ること。

オーダー票の受付を終え承認を得たチームが、待機エリア脇で投球練習が出来るものとする。

但し、先発バッテリー1組とし、必ず背番号30・29・28の何れか1名が帯同すること。

試合中のグラウンド内への出入りについては、役員若しくは審判部の指示に従うこと。

ゲームセット後の相手ベンチへの挨拶は行わないものとする。

各チームの応援幕、応援旗などは球場内に掲示しないこと。

但し、球場外部やベンチ内等ボールデット地域はこの限りでない。

改定日

平成28年4月2日

以上